

令和7年5月1日

お知らせ

 岡山県立博物館	
担当者	平田・内池
電話番号	内線：5015 直通：086-272-1178

岡山県立博物館 テーマ展 「学び、つながる江戸時代の人びと」を開催します！

岡山県立博物館では、学芸員の調査研究成果を発表する場として、県民にとって魅力あるテーマやメッセージ性のあるテーマを設定した展示を行っています。

今回のテーマ展では、古川古松軒や武元登々庵など、岡山ゆかりの人物を取り上げ、その学びや交流の広がりをご紹介します。ぜひ取材にお越しください。

記

- 趣 旨**

江戸時代の社会は、「文字社会」であったと言われます。版木印刷による版本が大量に出回るようになったのも、この時代の特徴です。

文字や出版の広まりに伴い、文字を学ぶ手習塾、藩校や学習塾などが日本各地につくられ、岡山でも、閑谷学校をはじめとする学びの場ができ、多くの人々が学ぶようになり、各地へ飛び出し、出会いと交流を重ねて学びを深めていく人物も登場しました。

今回のテーマ展では、江戸時代に各地の人とつながりを持ちつつ学びを深めた、古川古松軒や武元登々庵など、岡山ゆかりの人物を取り上げ、彼らの手紙や著作などからその学びや交流の広がりをご紹介します。
- 会 期** 令和7年5月11日（日）～6月29日（日）
- 開館時間** 午前9時～午後6時
- 休 館 日** 毎週月曜日
- 会 場** 岡山県立博物館 2階展示室
- 入 館 料** 大人260円、65歳以上130円、高校生以下無料
- 主な展示資料**
 - ・ 宇田川玄随書状 岡山県立博物館蔵
 - ・ 絹本著色古川古松軒像 岡山県立博物館蔵
 - ・ 窪田浅五郎算術免状 岡山県立博物館蔵
 - ・ 奥秘三勝 岡山県立博物館蔵
- 学芸員による展示解説（申込不要）**

日時：5月17日（土）、31日（土）、6月14日（土）、28日（土）
※時間はいずれも午後2時～

学び、つながる

江戸時代の

人びと

2025
5.11(日)ー6.29(日)

閑谷学校(備前市)は、百姓や町人に開かれた江戸時代の代表的な学びの場です。この時代には、武士だけではなく幅広い人びとの学ぶ場が日本中にでき、読み書きそろばんをはじめ、さまざまな学びが行われました。そのなかで、各地へ飛び出し、出会いと交流を重ねて学びを深めていく人物も現れました。

今回は、それらの人物から古川古松軒*や武元登々庵**など、全国的に知られる岡山の人物をご紹介します。彼らが記した資料を読み解くと、人びとの学びを通じたつながりが見えてきます。



*
ふるかわ こしょうけん
古川古松軒

1726年、備中国新本村(総社市)に生まれた地理学者です。各地へ旅に出かけたことで知られ、寛政の改革を行った松平定信にも面会しています。

**
たけもと どうとうあん
武元登々庵

1767年に生まれた漢詩人・書家・医者として知られます。備前国北方村(備前市)出身で、閑谷学校などで学び、歴史家・漢詩人などとして有名な頼山陽とも深く交流しました。

絹本着色古川古松軒像 岡本豊彦筆(部分) 岡山県立博物館蔵
背景: 奥秘三勝(部分) 岡山県立博物館蔵

会場 岡山県立博物館 2階展示室
開館時間 午前9時～午後6時
入館料 大人 260円、65歳以上 130円、
高校生以下無料
休館日 5月12日(月)・19日(月)・26日(月)、
6月2日(月)・9日(月)・16日(月)・23日(月)

学芸員による展示解説

*申込不要・各日午後2時～3時

5月17日(土)・31日(土)、
6月14日(土)・28日(土)



岡山県立博物館
Okayama Prefectural Museum

〒703-8257 岡山市北区後楽園1-5
TEL 086-272-1149(代表) FAX 086-272-1150
<https://www.pref.okayama.jp/site/kenhaku/>

